

昨日 6 月 29 日配信の、逆ラジオ通信 No.25W-220629 にも載せましたが、
 【八王子】の長期データのうち、赤の強いデータの減衰に、あたかも同期したように、練馬、新橋、六本木、世田谷、文京、前橋などに同期した数日間の短期間で急な減衰が見られましたが、本日 6 月 30 日の段階では さらに東北の米沢、市川、鎌倉にも同じような急な減衰が見られます。

他方で、昨日は中部、東海地区の、三重志摩、浜松北区 405、富山、福井などにも同期した減衰のようなデータが出ていましたが、こちらは今日の段階では はっきりしていません。

このような、数日間という短い期間での急な減衰の例は、過去には、1 つの長期、大型データが長い時間をかけて減衰—収束してきて、いよいよ発震がま近、という段階で、周囲の観測データに一斉に現れる場合があります。例としては 2011 年の東日本大震災のメインのデータである仙台の長期データが収束してきたときに、東北から関東各地で一斉に急な異常データが多数出たことがあります。

以上のことから、ここ数日の間に関東地方で M6 クラスの大地震が発生する可能性を考えて警戒したいと思います。昨日 6 月 29 日が月齢 0 でいわゆる新月であり、大地震が発生しやすい新月トリガーの期間なので その意味からも大型地震に注意したいと思います。

練馬 15 日間データ



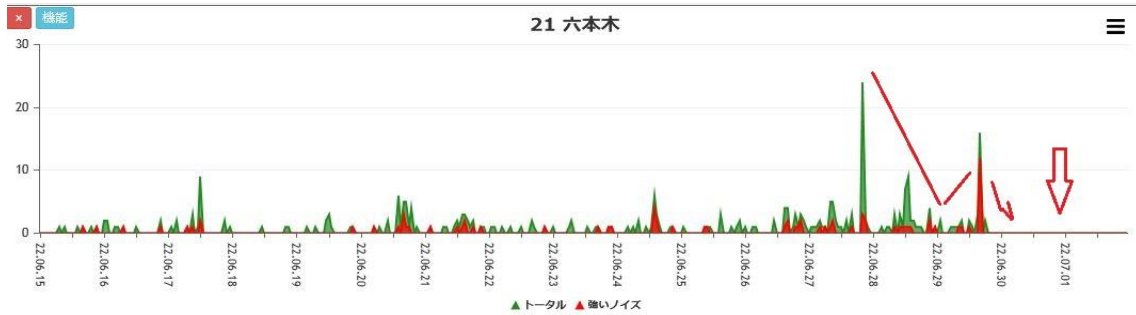
新橋 15 日間データ > 約 3 日間の急な減衰が見られる



文京 15日間データ



六本木 15日間データ



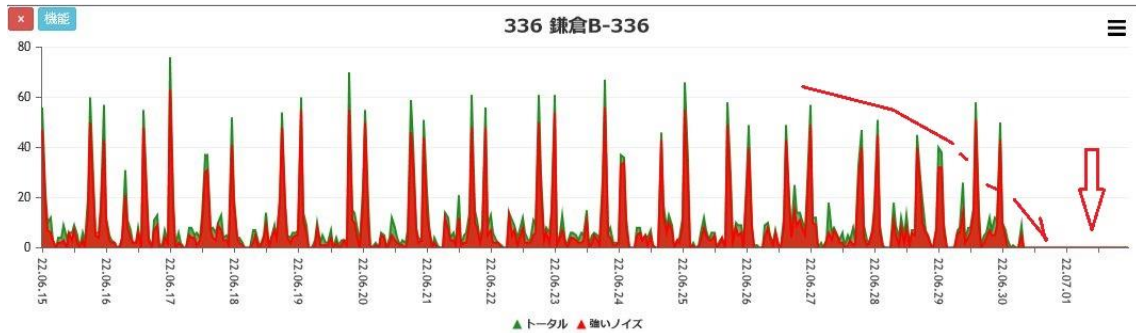
世田谷 60日間データ



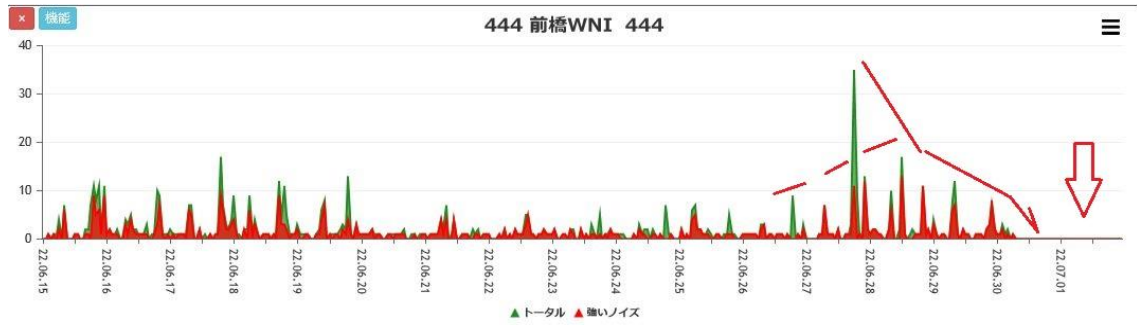
市川 15日間データ



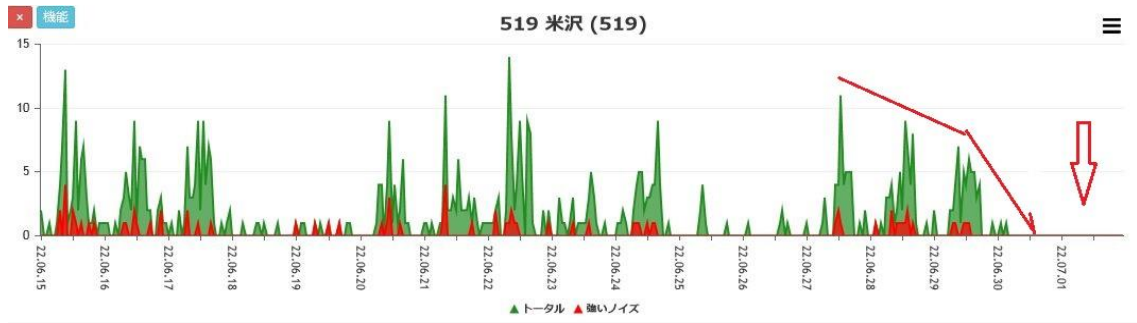
鎌倉 15日間データ



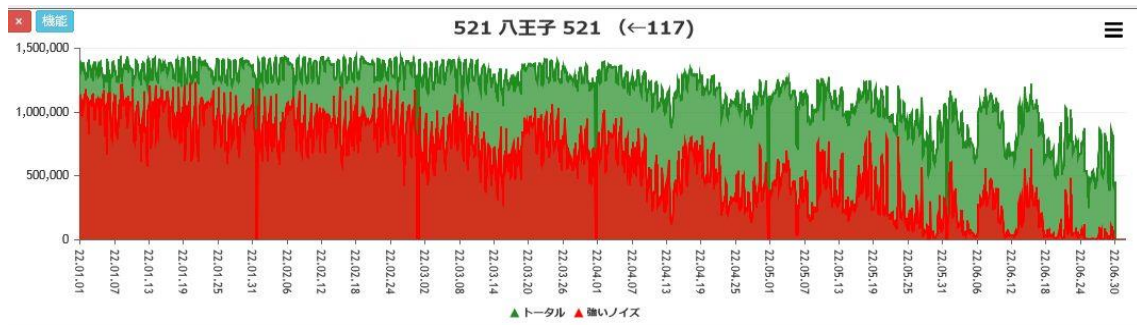
前橋 15日間データ



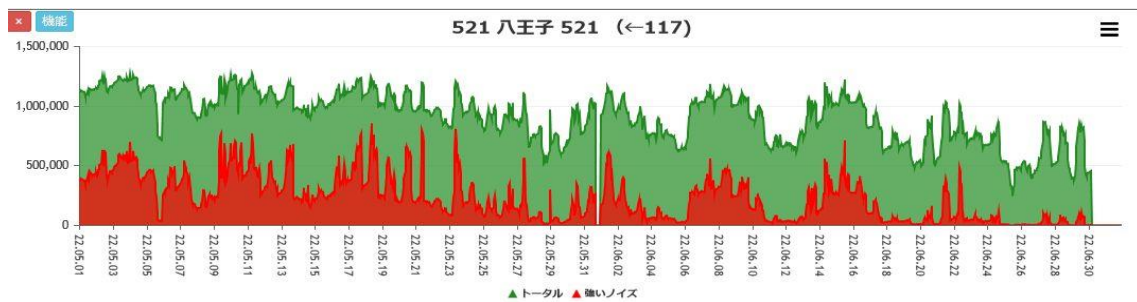
米沢 (山形) 15日間データ



八王子 180日間データ>赤のデータの減衰がはっきりしている



八王子 60日間データ



八王子 15日間データ>赤のデータが減衰している。

